



平成 19 年 7 月 30 日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 長井 幸夫
(コード番号 2533 東証・大証・名証第一部、札幌)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長
高橋 孝通(TEL 03-3575-2777)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 11 日に公表した平成 19 年 12 月期中間連結業績予想、及び平成 19 年 2 月 9 日の決算発表時に公表した平成 19 年 12 月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期中間連結業績予想数値の修正
(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(単位;百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 5 月 11 日発表)	35,000	—	1,300	500
今回修正予想(B)	35,400	290	350	260
増減額(B-A)	400	—	△950	△240
増減率	1.1	—	△73.1	△48.0
前中間期(平成 18 年 12 月中間期)実績	34,744	1,241	1,247	192

2. 平成 19 年 12 月期連結業績予想数値の修正
(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位;百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19 年 2 月 9 日発表)	77,000	—	2,800	1,000
今回修正予想(B)	77,000	1,900	2,000	900
増減額(B-A)	—	—	△800	△100
増減率	—	—	△28.6	△10.0
前期(平成 18 年 12 月期)実績	72,966	2,415	2,356	883

3. 修正の理由

中間期の業績につきましては、売上高は増収になりましたが、経常利益においては米国に於けるバイオエタノールの需要増加に伴い、輸入原材料である原料用アルコール及び原料用コーンの価格が予想を大幅に超えて上昇した事や販売促進費の増加などにより、前回発表予想数値を下回る見込みであります。中間純利益におきましては、前回発表の通り投資有価証券の売却益による特別利益の発生がございましたが、経常利益の減少により前回発表数値を下回る見込みであります。

下期の売上高は上期に引き続き増収となり、経常利益も前期を上回る見込みであります。通期の業績予想につきましては、経常利益、当期純利益において中間期の動向を踏まえ前回発表予想数値を下回る見込みであります。なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。特に輸入原材料価格並びに為替動向により、当グループの業績が影響を受ける可能性があります。

以 上